

平成 21 年 3 月 2 日

お客様各位

帯広信用金庫
事務部システム担当

WEB - FB サービス「電子証明書を利用した認証方式」の取扱開始のご案内

謹啓

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当金庫ではWEB - FB サービスをより安心してご利用いただけますようこれまで様々なセキュリティ対策を実施してまいりましたが、今般、スパイウェア、キーロガースパイウェア、フィッシング詐欺等による金融犯罪・不正使用に対するセキュリティ強化策として、平成 21 年 3 月 2 日よりログイン時の認証に係る「電子証明書を利用した認証方式」(電子証明書方式)のお取扱いを開始いたします。

電子証明書方式は、インターネットを利用した様々な金融犯罪・不正使用からお客さまを保護する有効な手段となりますので、無料でご提供させていただきます。

現在、WEB - FB サービスをご契約いただいているお客さま、これからご利用をご検討されているお客さまは、下記をご参照のうえ、ご検討いただき、お申込みくださいますようお願い申し上げます。

なお、お客さまのパソコン・WEB ブラウザ・ネットワーク環境によりご利用いただけない場合がございますので事前のご確認をお願い申し上げます。

謹白

1. 認証方式の概略～「ID・パスワード方式」と「電子証明書方式」

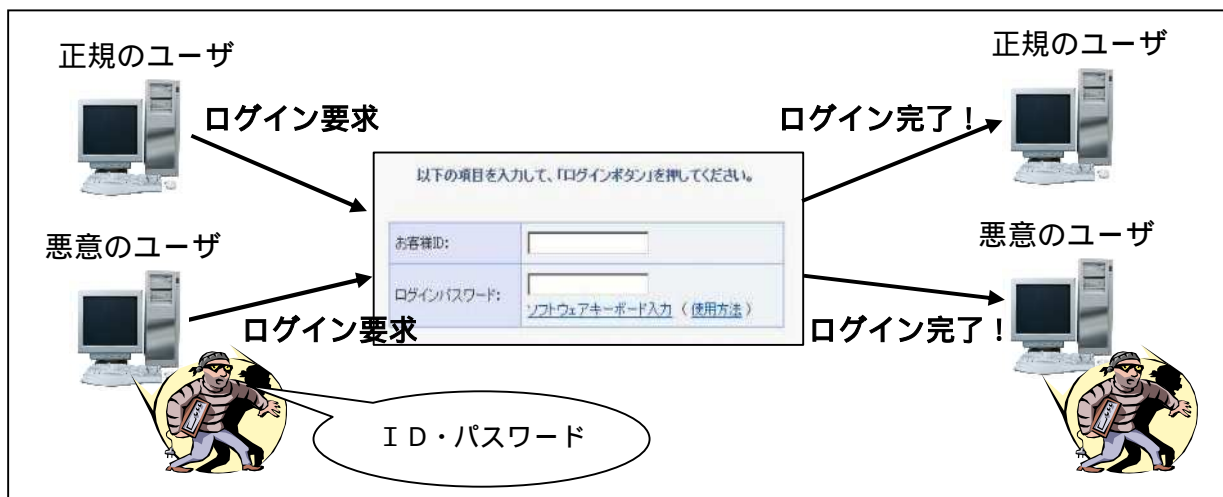
通常、個人を証明するためには、運転免許証等の本人確認書類を提示する事により自分自身を証明する事ができますが、インターネット上ではこの方法が取れないため、ID とパスワードにより本人確認を行う「ID・パスワード方式」が一般的となっています。

しかし、この方法はID とパスワードが一致していれば、任意のパソコンから利用可能であり利便性が高い反面、万が一ID とパスワードが漏洩すると、「成りすまし」による不正利用を受ける危険性があります。

一方、「電子証明書方式」は、電子証明書をインストールしたパソコンからのみパスワードを入力してログインでき、電子証明書がインストールされていないパソコンからはログインできなくなります。そのため、万が一フィッシングやスパイウェアによりID やパスワードが漏洩したとしてもログインできないため、成りすましによる不正利用を防ぐことができセキュリティが格段に向上します。

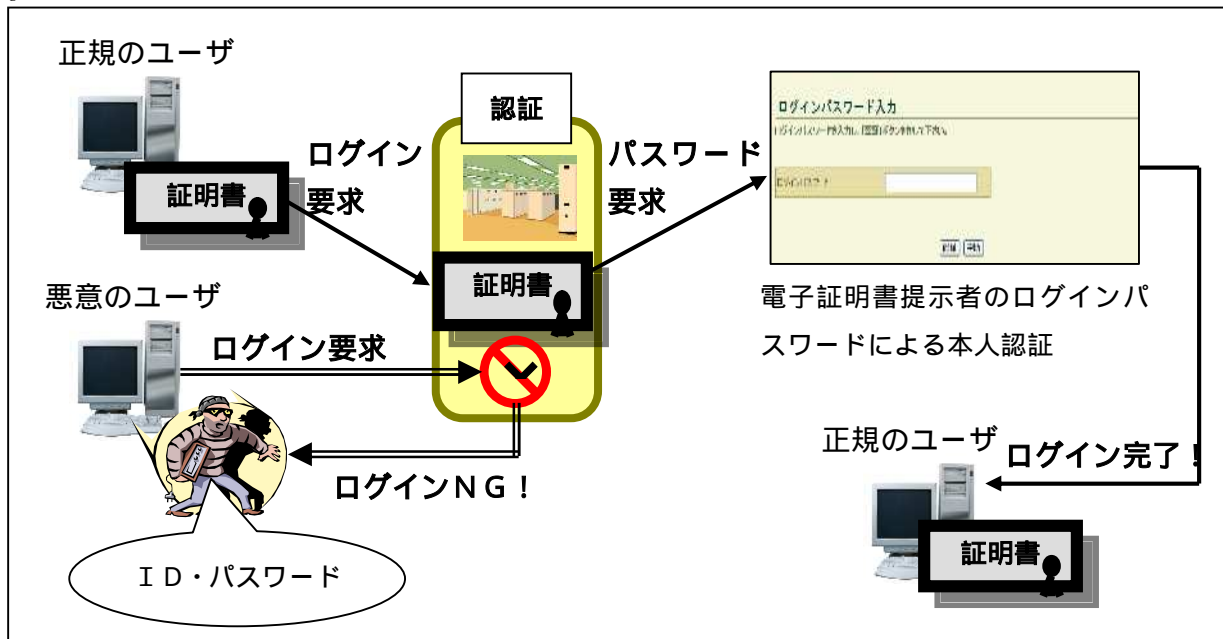
電子証明書とは...暗号技術に基づいて作成されており、偽造するのは不可能な本人を証明する電子的データをいいます。WEB - FB では、日本ペリサイン社提供のものを使用いたします。
(WEB - FB の認証のみに利用でき、その他の商取引には利用できません。)

(1) 現在の認証方法 (ID・パスワード方式)



ID・パスワード方式では、IDとログインパスワードにより本人認証を行います。任意のパソコンから利用可能なため、利便性が高い反面、万が一フィッシング等の被害によりIDとログインパスワードが漏洩すると、不正利用の被害を受ける危険性があります。

(2) 電子証明書方式の認証方法



電子証明書方式では、あらかじめパソコンにインストールされているID固有の電子証明書とログインパスワードにより本人認証を行います。そのため、フィッシング等の被害により万が一ログインパスワードが漏洩した場合でも、IDとパスワードのみでのログインは出来ません。

また、電子証明書がインストールされていないパソコンからのログインができないため、利用するパソコンを限定することができます。

2. お申込み方法

事前に下記「4. ご利用環境」をご確認のうえ、次のとおりお申込みください。

(1) WEB - FBサービス新規導入のお客さま

サービスご利用申込の際に「電子証明書方式」を利用する旨お申し付けください。

(2) 既にご契約いただいているお客さま

別紙「WEB - FBサービス変更依頼書」によりお申込みください。

3. ご利用料金

電子証明書方式ご利用のための追加手数料は不要です。

WEB - FBサービスの月額基本手数料(2,100円)のみでご利用いただけます。

4. ご利用環境

電子証明書方式を利用するために必要な動作環境は、次のとおりとなります。

(1) OSとWEBブラウザのバージョン

パソコンのOS	Windows 2000SP2以降、Windows XP、Windows Vista
WEBブラウザ	Internet Explorer 6.0、7.0

Windows Vista、IE7にも対応しています。

ただし、Windows Vistaのお客さまは、電子証明書取得の前にルート証明書のインストールが必要です。

Macintosh および Netscape Navigator でのご利用はできません。

(2) お客さまの社内ネットワークのドメイン環境について

次の構成により構築された社内ネットワークドメイン環境のパソコンからご利用の際は、一時的にパソコンにインストール済みの電子証明書が利用できなくなる事象が発生する可能性があります。

その際は、電子証明書を再インストールする等の対処が必要となりますのであらかじめご了承ください。

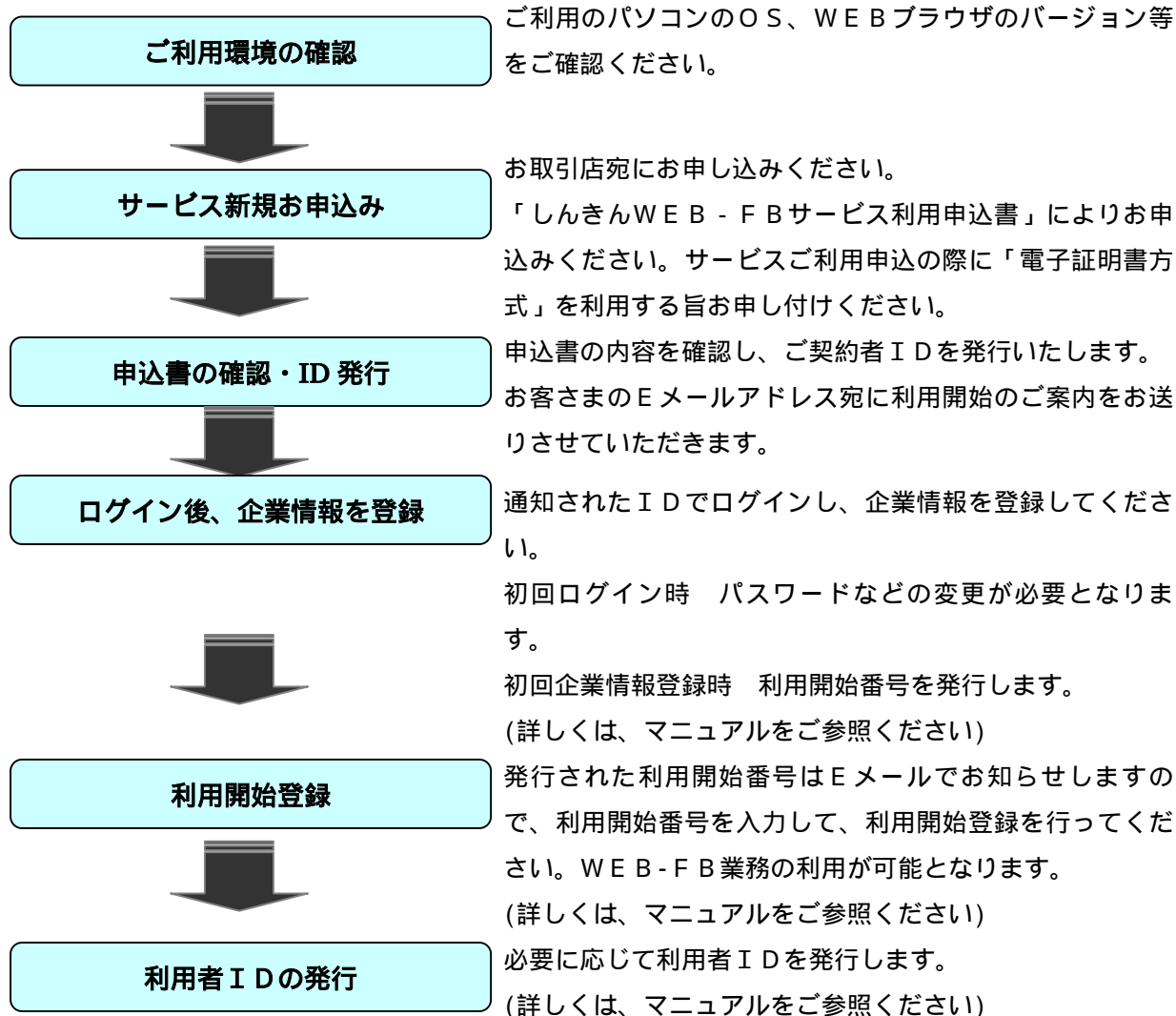
Windows NT サーバにより構築されたドメイン

Linux サーバと samba により構築されたドメイン

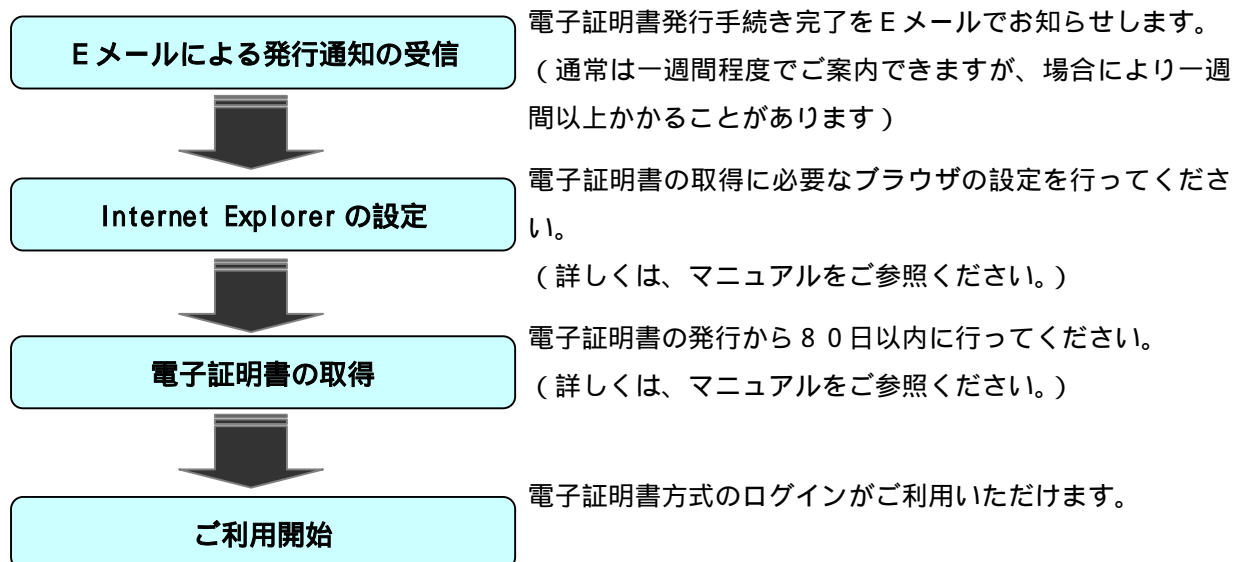
5. ご利用までの流れ

(1) WEB - FBサービス新規導入のお客さま

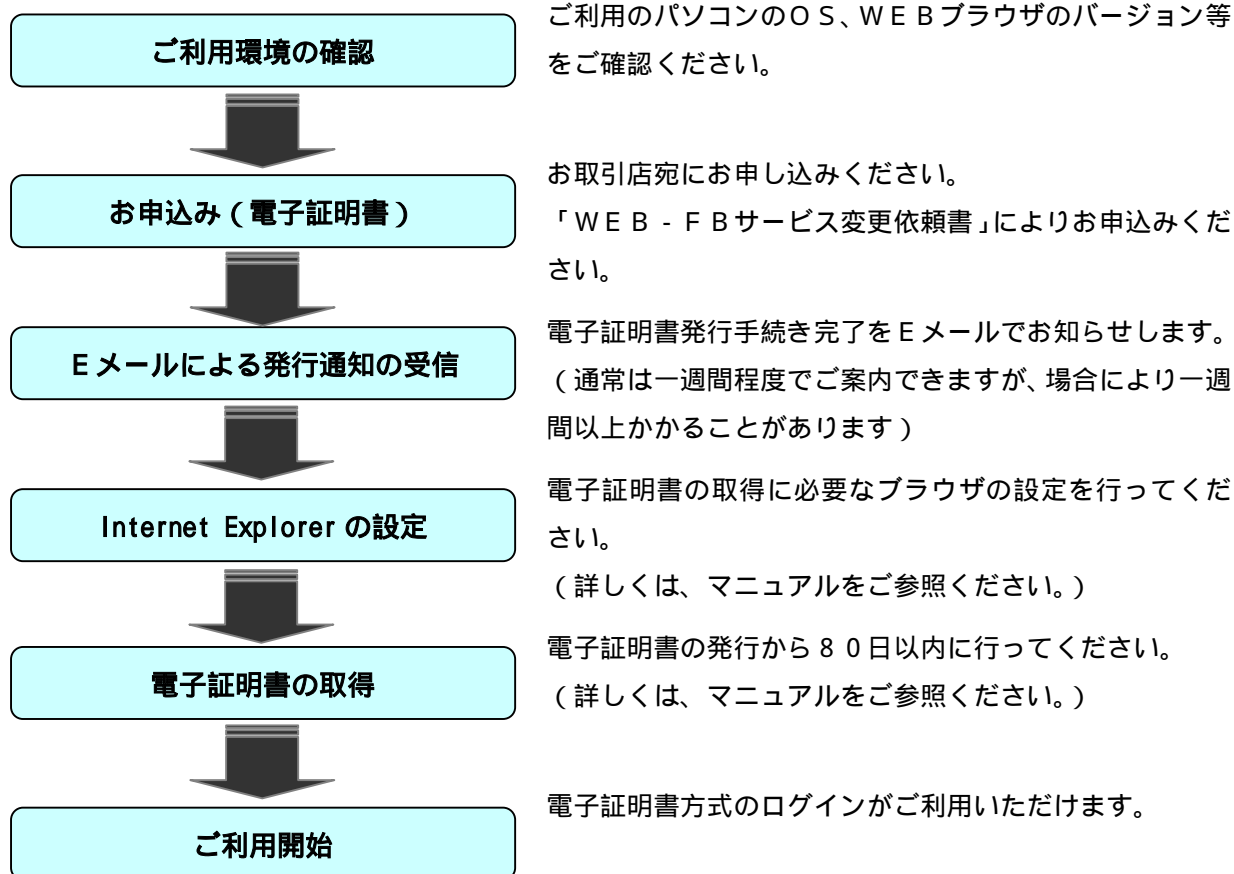
ID・パスワード方式により利用開始登録を行います。



電子証明書を取得して電子証明書方式へ切替えます。



(2) 既にご契約いただいているお客さま



6. 電子証明書取扱に関する注意事項

(1) 利用するパソコンが限定されます

電子証明書がインストールされたパソコンからしかログインできなくなります。

(2) すべてのIDが電子証明書方式となります

管理者IDおよび管理者IDで発行されたすべての承認者ID、一般者IDについて電子証明書方式となります。

(3) 電子証明書の発行単位

電子証明書は1つのIDに対して1枚発行されます。1つのIDに対して複数の電子証明書の発行はできません。複数の承認者ID、一般者IDを発行している場合は、すべてのIDに対して電子証明書を発行する必要があります。

従来当金庫では、操作する方が一人の場合でも、当金庫が発行する「管理者ID」の他に「承認者ID」の発行を推奨しておりましたが、承認者ID、一般者IDについても電子証明書の発行・更新等が必要となり管理が煩雑となりますので、操作する方が一人の場合は、「承認者ID」を削除して「管理者ID」のみでのご利用をお勧めいたします。

(4) 電子証明書の発行

電子証明書の発行者は、次のとおりとなります。

I Dの種類	発行者
管理者 I D	当金庫にて発行致します
承認者 I D、一般者 I D	お客様の管理者 I Dで発行致します

(5) 電子証明書の取得期間

電子証明書の取得期間は、電子証明書の発行後 80 日間です。

取得期間中は I D・パスワード方式でログインができますが、取得後は電子証明書方式のみのログインとなります。

なお、取得期間内に電子証明書の取得を行わなかった場合は、I D・パスワード方式でのログインができなくなるため、電子証明書を再度発行する必要があります。

また、管理者 I Dが取得期間内に電子証明書の取得を行わなかった場合は、管理者 I D、承認者 I D、一般者 I Dのすべての I Dでログインできなくなります。

(6) 電子証明書の取得方法

発行された電子証明書を利用するパソコンにインストールすることで取得を行います。

なお、管理者 I Dが電子証明書を取得した時点で、承認者 I D、一般者 I Dは I D・パスワード方式でのログインができなくなります。

(7) 電子証明書の有効期限・更新可能期間

電子証明書の有効期限は、電子証明書の発行日より 1 年間です。

有効期限を過ぎた電子証明書は利用ができなくなりなりますので、有効期限 30 日前から有効期限までに更新を行う必要があります。

なお、更新期間内に更新されなかった場合はログインができなくなるため、電子証明書を再度発行する必要があります。

(8) 電子証明書の失効

承認者 I D、一般者 I Dの電子証明書の利用を停止したい場合は、管理者 I Dにより証明書の失効処理を行います。

(管理者 I Dの失効については、当金庫への届出が必要となります)

失効処理を行った電子証明書でのログインはできなくなります。

なお、失効処理を行った I Dを電子証明書方式で再度利用したい場合は、電子証明書を再度発行する必要があります。

また、I D情報の削除を行った場合は、自動的に I Dに対応する電子証明書の失効処理が行われます。

(9) 電子証明書の再発行

パソコンの故障、パソコンの入替、誤って電子証明書を削除してしまった等の理由により電子証明書が使用できなくなった場合は、管理者IDにより承認者ID、一般者IDの電子証明書の再発行処理を行います。

(管理者IDの電子証明書再発行については、当金庫への届出が必要となります)
再発行処理の後、電子証明書を取得することにより電子証明書でのログインができるようになります。

(10) 電子証明書のバックアップ(エクスポート)・復元(インポート)

管理者IDの電子証明書については、バックアップ(エクスポート)および復元(インポート)ができます。

FD・USBメモリ等の媒体にバックアップしておくことで、電子証明書がインストールされているパソコンが故障等した場合に復元することができます。

なお、承認者ID、一般者IDの電子証明書については、バックアップ(エクスポート)および復元(インポート)ができません。

7. その他

詳細の情報、マニュアル等については、当金庫ホームページよりご確認ください。

以 上

<お問い合わせ先>

帯広信用金庫 事務部 システム担当

TEL : 0155-24-3171 / FAX : 0155-23-0249

帯広信用金庫ホームページURL

<http://www.shinkin.co.jp/obishin/index.html>

(様式 6)

帯広しんきん

WEB-FBサービス変更依頼書

帯広信用金庫 _____ 店 御中

ご依頼日	年 月 日
------	-------

ご依頼人

ご住所	〒			お申込印		
お名前	フリガナ:					
ご連絡先	電話 (自宅)	() -	携帯電話	() -		
お届出のEメールアドレス	@					

ご利用口座 (代表口座)

お取引科目	口座番号	口座名義 (ご依頼人名と同一の場合は省略可能)
<input type="checkbox"/> 当座預金		
<input type="checkbox"/> 普通預金		

▼ご依頼の項目に「レ」をご記入ください。

①持込済明細の取消 (為替発信済みの明細は本依頼書で取消しできません)

持込日	年 月 日	振込指定日	年 月 日
WEB通番		-	

②利用限度額の変更

総合振込取扱い限度額(1回あたり)		千円	総合振込累計限度額(指定日あたり)		千円
都度振込取扱い限度額(1回あたり)		千円	都度振込累計限度額(指定日あたり)		千円
給与賞与振込取扱い限度額(1回あたり)		千円			

③管理者IDのパスワード変更 (①~④のうち変更するパスワードのみご記入ください)

①ログイン		← (6~12桁の半角英数字の組み合わせ)
②登録確認用		← (6桁の半角数字)
③承認用		← (10桁の半角数字)
④都度振込用		← (10桁の半角数字)

④管理者ID利用規制の解除

⑤払込情報取得規制の解除

⑥認証方式の変更 (「ID・パスワード方式」から「電子証明書方式」へ変更)

⑦認証方式の変更 (「電子証明書方式」から「ID・パスワード方式」へ変更)

⑧管理者IDの電子証明書の再発行

⑨その他 ()

帯広信用金庫使用欄

顧客番号

検印	処理印

検印	照合印	受付印

本部